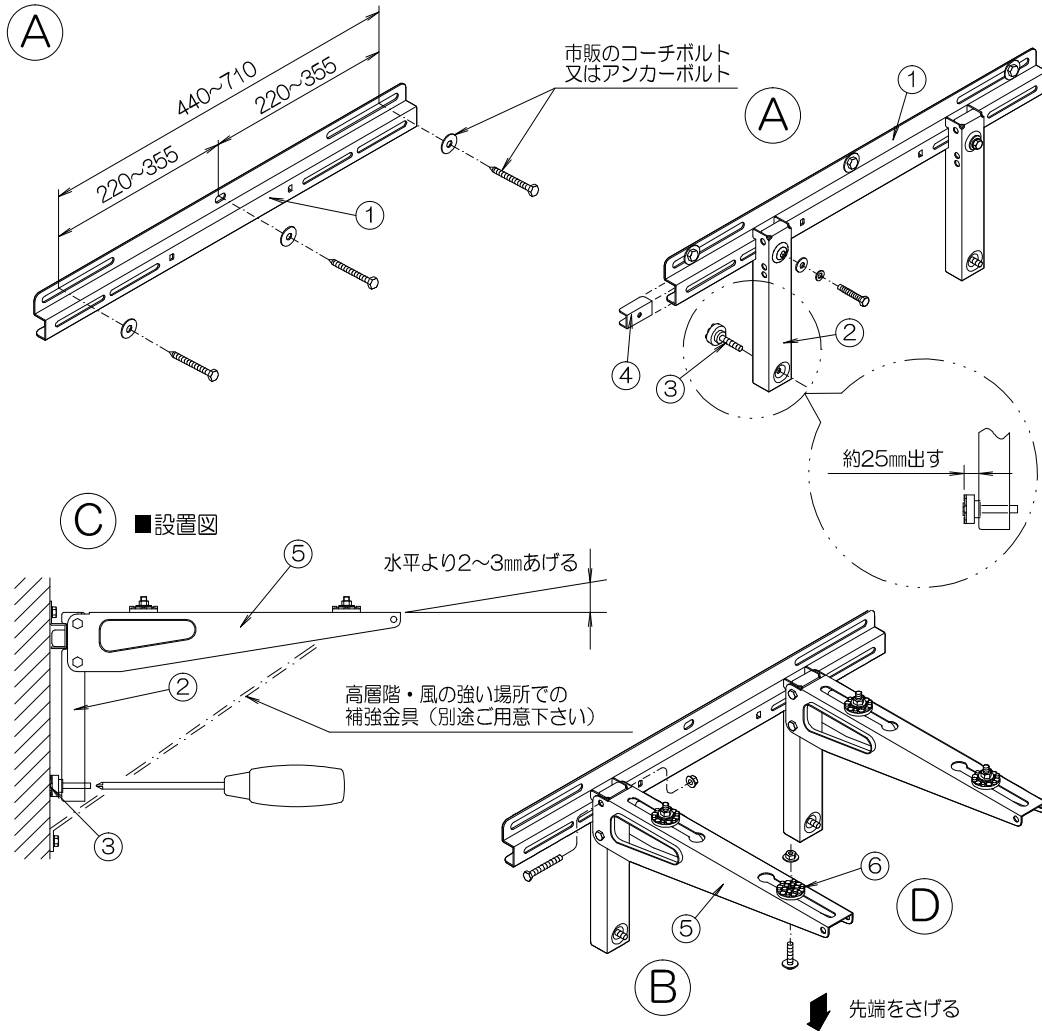


ユニット型式
MORAC-KD3SA/KD13SA/KD23SA
KD33SA/KD3SA-SR/KD3SA-SR70

製品型式（壁面用架台） 据付説明書
MORAC-KD-K1

据付位置	部品名	数量	付属ビス	入数	備考
A 架台の組立て	① ヨコカン	1	M8×50	2本	
	② タテフレーム	2	ワッシャ	2枚	
	③ 調整足	2	Sワッシャ	2枚	
	④ スライドナット	2			
B アームの取付け	⑤ アーム	2	M8×60	4本	
			M8	4個	
D 室外機本体の据付け	⑥ 絶縁ワッシャ組	4			



作業手順

- A 架台の組立て**
- 壁面にヨコカン①を固定します。
 - タテフレーム②に調整足③を取付けます。
＜調整足③はタテフレーム②より、約25mmとび出して取付けます。＞
 - ヨコカン①にスライドナット④を入れて、タテフレームを六角ボルト・ワッシャ・Sワッシャで固定します。
- B アームの取付け**
- タテフレーム②にアーム⑤を六角ボルト・ナットで取付けます。
＜アーム⑤の先端を下げてから締付けて下さい。＞
- C 調整足での調整**
- ドライバーで調整足③を回して角度調整をします。
＜アーム⑤の先端が、水平より2~3mmもちあがるようにして下さい。＞
- D 室外機本体の据付け**
- 架台各部のボルト・ナットを増し締めします。
 - アーム⑤に絶縁ワッシャ組⑥をはめ、室外機を乗せて六角ナットで固定します。

⚠ 壁が木造の場合は、コーチボルト3組（500mmピッチの場合2組）で必ず壁内の柱に固定してください。
※コーチボルトは打ち込まず、下穴を開けてねじ込んでください。
壁がコンクリート造りの場合は、ボルト径8mmのプラグボルト・アンカーボルト等で固定して下さい。

⚠ 高層階・風の強い場所での設置は、安全の為別途転倒防止金具等で補強工事を行って下さい。

据付場所の選定

- 強度のある壁面を選んで取付けて下さい。
※止めにくい場合は、別途補助材をご用意下さい。
- 他の熱源から直接輻射熱を受けないところ。
- 取付けの際に発生する騒音が隣家に迷惑のかからないところ。
- 積雪や吹きだまりで開口部が塞がれてしまうところの設置は避けて下さい。
- 高所などの設置で製品の吹出口に強い風が吹き付けることが予想させる時には、吹出口に強い風が当たらないように取付けて下さい。
室外機に必要な風量が確保できなくなり、運転に支障をきたします。
- 吹出口からの排熱が処理出来なくなる場所の設置は避けて下さい。

壁面用架台の取付け



警告

- 絶対に乗ったり、ぶら下がったりしないで下さい。壊れる恐れがあります。
- 改造しないで下さい。強度が不足したり、寿命が短くなります。
- ネジは確実に締めて下さい。締め忘れると分解する恐れがあります。
- 製品のカドは、手を切る恐れがあります。お子様にも教えて下さい。